

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

平成26年
龍源寺年間行事予定

1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
1/4~1/7 年始挨拶
※1/10 年賀寺例
※2/3 大節分会
※2/15 釈尊涅槃会
※3/9

大般若会併修大施食会法要
※3月中旬 筆供養法要
3/18~3/24 春季彼岸会
3/23 旧蚕影山例祭日
※4/8 釈尊降誕会(花祭り)
4/29

大施食会併蚕影山例祭法要
5/15 市内寺院研修旅行
6/19 檀信徒研修大会及梅花
県大会及二祖国師予修法要
7/13~7/16

京浜地区檀信徒棚経
※7/30~7/31(一泊二日)

第33回子供禪の集い
8月上旬 夏季おてんま
※8/10 中元寺例
8/13~8/16 盂蘭盆会
9/20~9/26 秋季彼岸会
※10/19檀信徒参拝研修旅行
12月上旬 冬季おてんま
※12/8 釈尊成道会
※12/10 歳暮寺例
※12/31 除夜会

※毎週土・日曜日 書道教室
※毎週水曜日 定例坐禅会
※隔週水曜日

梅花講・琴教室・華道教室
※は、御本寺仁叟寺にて開催

大雪被害報告

2月14日から15日にかけての大雪は、報道にあったように、当地では観測史上初の記録的な降雪でした。当寺でも積雪は80センチ以上を記録し、大きな被害を各方面にもたらしました。

龍源寺では、地元の方々と共に力を合わせ、除雪作業を行い、15日には、本堂・駐車場・庫裏・会館の歩く道は確保。16日夕方には、車で移動出来るほどになりましたが、その週の法事は全て延期となり、また車庫の崩壊のほか、本堂

庫裏などの建物の雨樋や瓦屋根などに被害も見受けられました。また、除雪作業にあたり、出牛均様、石匠多比良様、平井農園様には大変お世話になりました。紙面を借り、御礼申し上げます。

除雪作業がひと段落いたしましたら、墓地の状況を墓参を兼ね、見られる方が多くおられました。竹林の竹が雪の重みで墓所に倒れていた箇所もありましたが、除雪作業と併せ撤去。また各家の墓所までの道の除雪を当寺で行いました。有難いことに墓域には雪害は見受けられませんでした。尚、竹は約30本ほど伐採いたしました。

現在、倒壊した車庫、本堂及び庫裏の被災した屋根などの工事を業者に依頼。遅くとも5月中には復旧出来るよう、進めております。併せて、保険なども上手く活用しようと考えております。当山も予期せぬ出費となり、住職として大いに困っておりますが、こればかりは天災でもありますので致し方ないとも…。

以上、当寺の大雪被害の報告を簡単に申し上げます。この度の大雪で被災しました方々のお見舞いを申し上げます。合掌。



↑ 崩落した玄関の鬼瓦 ↓



↑ 2/15 倒壊した車庫 ↓



群馬県曹洞宗青年会主催 インド研修旅行報告

2月25日～3月6日に掛けて、インド七大仏教聖地を巡礼して参りました。当方が副会長を務めます群馬県曹洞宗青年会の有志15名と共に、数年前より企画された今回の研修旅行を圓成させていただきました。

聖地巡礼だけでなく、8年前に当青年会で建立いたしました、「ゴータマブッダ小学校」の二階部分増築記念式典にもゲストとして参列。インドクシナガラ郊外にある当会で建立した学校が、地域の方々の教育の拠点として機能していることにも感動を覚えました。

充実した旅程となっており、またインドビハール州ではストライキ等にも巻き込まれ、宿には夜半到着、出発は早朝とハードではありましたが、しかしながら、非常に良い意味で印象に残る研修が行えたと思っております。お釈迦様の足跡を辿り、聖地で会員と共にご回向が修行出来ました尊縁に只管感謝あるのみです。



↑ゴータマブッダ小学校での記念式典
ストライキで足止め中に折紙で交流✓



↑左) お釈迦様生誕の地・マヤ聖堂 (ネパール・ルンビニ) 世界遺産指定
右) お釈迦様入滅の地・朝焼けの釈尊涅槃堂 (インド・クシナガラ)

吉井地域寺院参拝研修旅行参加者募集中

龍源寺主催参拝研修旅行を右記のとおり**5月15日(木)**に行ないます。宜しくご参加いただきますよう、お願い申し上げます。今回は、地元高崎市吉井地域の寺院を廻らせていただきます。歴史ある吉井地域には22の寺院が所在しております。各寺の本堂等を拜登し、御住職様にお話しもいただける予定です。是非この機会に、友人知人お誘い合わせの上、お申込み

時間	場所	内容
13時00分	龍源寺 集合	龍源寺本堂にて参拝。堂内説明と旅行趣旨説明。
13時30分	常行院 着発	袂観音で有名。本堂は今年4月に落慶法要を修行。
14時15分		群馬県指定天然記念物のラカンマキ。
14時15分	金蔵寺 着発	本堂は昨年より改修工事を行い本年完成。
15時00分		
15時00分	仁叟寺 着発	龍源寺御本寺。前住職の住職地。現住職副住職地。
15時45分		高崎市指定重要文化財数は市内最多。諸堂拝観。
15時45分	全林寺 着発	当山と同じ曹洞宗寺院。昨年に晋山退董式を修行。
16時30分		平成21年に「めざめ保育園」が開園。
16時30分	眞光寺 着発	大般若経六百巻が高崎市重要文化財に指定。
17時15分		本堂は平成になり長い年月を掛け再建。
17時15分	弘龍 着発	参加者一同にて夕食を召し上がっていただきます。
19時30分		
19時30分	龍源寺 到着	龍源寺にて解散。

仁叟寺通信 ～高崎市里山元気再生事業～

紅葉の名所夢見て 高崎仁叟寺モミジ100本植える

秋を思い描き、高崎市吉井町の仁叟寺（渡辺啓司住職）は、敷地内にモミジの苗木100本を植えた。檀家役員や地元区長ら35人が、紅葉の名所となる日を夢見て汗を流した。同寺では昨年9月から、市の森林整備計画「里山元気再生事業」の一環で、約2300平方メートルの竹林を伐採。地域住民に喜んでもらえる跡地活用を考え、モミジを植えることを決めた。今後シダレザクラも20本ほど植える予定だ。渡辺住職は「この辺りは、桜はきれいなので、秋にも楽しみができるといいと思った。丁寧に手入れしたい」と話していた。

（平成26年4月2日付『上毛新聞 地域面』より）



↑ 上毛新聞記事

既に当寺報でも紹介させていただいた通り、昨秋より仁叟寺にて進めております竹林の整備。高崎市の里山元気再生事業の計画のもと、従来の里山に戻すために、竹3,000～4,000本を矢嶋巖さん、小



↑ 植樹作業風景



↑ 多数の方々にご協力賜りました ↑

沢昇さんを中心に地元の方々と共に伐採。また、寺役員及び地元13区の関口区長はじめ地域の方々とおてんまを賜りました。竹林伐採後の跡地には、本年3月26日に紅葉と桜を植樹。その植樹作業の様子が、上毛新聞記事に掲載されました。紅葉の名所として、お寺に参られた方が、ほっとするやすらぎの空間を、多くの皆様方と力を合わせ創造出来れば幸いです。

龍源寺参道擁壁工事、階段手摺設置工事完了



↑ 参道の擁壁工事完了

龍源寺駐車場の整備工事・擁壁工事・参道整備工事等は、前号でご報告申し上げた通りです。



↑ 階段に手摺を設置しました ↑



今回、参道の擁壁工事を引き続き石匠多比良様に依頼。また、駐車場と墓地の階段二箇所の計三箇所に手摺を設置。こちらは、檀家さんの神部住宅サービス様に依頼いたしました。境内地の改善工事、当山で進めております。

平成25年度御寄附者一覧 (敬称略)

寄進品目名	爲	地域	施主名
施食会供米供養(10年)	開基門奈家先祖代々菩提供養	東京	窪田 広
櫓製前机	木村家墓石塔開眼会供養	藤岡	木村 佳央
全	八木家墓石塔開眼会供養	矢田	八木 紳雄
全	春岳宏道信士位菩提供養	吉井川	篠崎たま美
多胡石製五重塔	田中家先祖代々菩提供養	多胡	田中 純示
寺名入手桶沢山	篠崎家先祖代々菩提供養	多比良	石匠多比良
新米澤山	白田家先祖代々菩提供養	松田	白田 幹男
本堂庫裡廊下改修工事	当山新盆各諸精霊位供養	—	—
除雪作業一式	平井家先祖代々菩提供養	吉井川	平井農園
全	篠崎家先祖代々菩提供養	多比良	石匠多比良
全	出牛家先祖代々菩提供養	松田	出牛 均
杉林梅林伐採作業	渡辺家先祖代々菩提供養	松田	渡辺 和孝

御寄進、どうもありがとうございました 合

平成26年度龍源寺総代人世話人一覧 (敬称略)

総代長	松田	出牛裕一	役員	多胡	田中道教
総代人	松田	白田 博	全	多胡	神部 靖
全	矢田	木村照夫	全	松田	渡辺和孝
顧問	多胡	宇佐美源吾	全	松田	杉田 彰
全	矢田	小林 茂	全	矢田	※中曾根美江
役員	多比良	田端米治	全	矢田	八木みさ江

上記の表が、平成26年度龍源寺総代世話人の方々です。宜しく願いいたします。また、※印の方が新任となります。宜しく願いいたします。また、前任者の八木紳雄様、お疲れ様でした。

行雲流水 (編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

例年1月～4月は、年賀から始まり節分会・涅槃会・大般若会・春彼岸会・花祭り・施食会等々と年中行事が続きます。本年は特に雪害もあり、また山内外の行事も多く重なり、中々大変でございました。

さて、その雪害を受け、当山に最初にお見舞いの連絡があった方が、東日本大震災被災地の方。当方が支援活動等を通じ、ご縁を結ばせていただきました。その心に、有難さと温かさを頂戴しました。(龍)